TATSUGO TOWN Public Relations Magazine 2026

広報 たつごう

Go!Go!たつGo

11 令和8年 月号

＼登録してね！／

龍郷町
公式Instagram

龍郷町
公式LINE



今月の表紙

▶町相撲大会（9月20日）
龍郷小学校の相撲場において、町相撲大会が開催されました。子どもから大人まで真剣勝負を繰り広げました。

今月のピックアップ

第67回
龍郷町相撲大会 結果

第61回
龍郷町駅伝競走大会 結果

ジェンダー視点を踏まえた性教育の推進

令和7年度ふるさと納税実績報告

第212号 議会だより

龍郷町の人口　令和8年9月末現在（前年比）　3,207世帯（−9）　男 2,824人（−5）　女 3,042人（−35）　計 5,866人（−40）

龍郷町 TOWN TOPICS タウン トピックス

龍郷町の話題や出来事をご紹介します。

9/19 国指定重要無形民俗文化財「秋名アラセツ行事」豊作を祈願

秋名・幾里地区で継承されている伝統行事、「秋名アラセツ行事」が開催され、豊作が祈願されました。

秋名アラセツ行事は、旧暦８月最初の乙(きのと)の翌日である丙(ひのえ)日を祭り日とし、日の出頃には、秋名田袋を見下ろす山の中腹に建てた片屋根(ショチョガマ)を揺り倒し、田や畑、山の神々への豊作祈願を行う「ショチョガマ」が行われ、夕方４時頃には、神平瀬と女童平瀬とで唄の掛け合いを行い、海の彼方の神々への豊作祈願を行う「平瀬マンカイ」が行われます。

「ショチョガマ」では、多くの見物客や撮影陣が見守る中、男衆が片屋根に乗り、「ヨラ！メラ！」という威勢のいい掛け声のもと体をゆすり、今年は例年とは逆の海側にショチョガマが倒れる形となりました。

そして、「平瀬マンカイ」では、厳かな雰囲気の中、岩頭での唄の掛け合いや礼拝が行われ、その後浜辺での八月踊りで締めくくられました。見物客からは、荘厳な伝統行事に盛大な拍手が送られました。















県老人クラブ連合会 功労表彰を受賞



浦集落の松田秀樹氏がこの度、令和８年度鹿児島県老人クラブ連合会表彰(功労表彰：事務局長)を受賞され、町長表敬されました。式典は、鹿児島市の宝山ホールで開催され、各部門において12名の方々が受賞、平成２７年から９年間、龍郷町老人クラブ連合会の事務局長を務めあげた松田さんは、平成２８年に開催された町老連50周年記念式典の際に、各単老の会長さんと記念誌「とおしめ」を作成し、町内全世帯に配布された思い出に触れ、今後の町老連に対して「施設入所者も含めた活動を展開して欲しい」と思いを語ってくださいました。

9/28 元大奄美 坂元元規さん 龍郷町へ化粧まわしを寄贈



今年１月に大相撲を引退した元大奄美 坂元元規さんが本町へ化粧まわしを寄贈され、りゅうゆう館でお披露目式が行われました。

坂元元規さんは本町赤尾木集落出身で、平成27年に追手風部屋への入門を発表し、翌年に角界入り。十両昇進年に十両初優勝し新入幕を果たすなど活躍されました。

寄贈いただいた化粧まわしは、本町後援会が贈り、現役時代に使用されていたもので、坂元さんは『これを見て、大相撲を目指してくれる子どもが増えてくれたら』と語りました。

今回は、同門の大栄翔関、日翔志関も初来島されており、一緒にお披露目を祝いました。

10/1 髙司聖保美氏が 教育委員に再任命



髙司聖保美氏が10月1日付けで町教育委員会委員に再任命され、竹田泰典町長から辞令が手渡されました。髙司教育委員の任期は、令和12年9月30日までの４年間で、現在本町では、同委員のほか、岩切博文氏、隈元康子氏、山田隆博氏の３名が教育委員として活動されています。

9/24 秋の全国交通安全運動 街頭キャンペーンとパレードを実施





秋の全国交通安全運動に伴い、健児こども園の年長さん、約25名の参加のもと、島育ち産業館駐車場などで街頭キャンペーンやパレードが実施されました。町民一人一人が、交通ルールの順守と正しい交通マナーを再認識し、交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりの実現につなげていきます。

9/26 子ども博物学士講座 西郷隆盛ゆかりの地を巡り学習



令和９年度に西郷隆盛生誕200年・没後150年の節目の年を迎えることから、子ども博物学士講座では西郷隆盛が題材として取り上げられ、参加した児童とその保護者ら30名余りが、町内のゆかりの地を巡り、理解を深めました。

一行は、志塾・西郷塾のメンバーの方による紙芝居で西郷隆盛の奄美大島での生活や人柄などを学んだ後、同団体メンバーによるガイドのもと、西郷隆盛が２度目の潜居地として過ごした龍家本家跡（西郷小浜公園）や県文化財となっている西郷南洲流謫跡などを訪れました。

最後には、今回の講座で学んだ西郷隆盛の人となりや奄美の人々に与えた影響などを子どもたちが発表し、多くの意見が出されました。充実した学習となったようです。











第67回 龍郷町相撲大会

日時：令和８年９月20日　場所：龍郷小学校 第２グラウンド

龍郷小相撲場で熱戦！校区の代表選手が力比べ

九月二十日（日）、六十七回目となる龍郷町相撲大会が開催されました。

多世代交流センター建設のため、龍郷小第2グラウンド相撲場での開催となった今年は、子どもから大人まで、総勢55名の校区代表選手が参加。各年代の個人戦、小学生・中学生・一般の部の団体戦が行われ、子どもたちの元気な取組から、大人の迫力ある戦いまで、様々な取組が繰り広げられました。

観客が見守る中、今年の一般の部では龍郷校区が見事優勝を果たしました。

個人戦結果	優勝	第２位	第３位	第３位
小学１年生	野村　綜安（赤徳）	大坪　咲仁（龍郷）	徳永　心之丞（龍瀬）	南里　真帆（大勝）
小学２年生	平田　琉翔（大勝）	山田　祐史朗（大勝）	小久保　颯洋（円）	牧主　昊空（戸口）
小学３年生	平田　翔也（大勝）	南里　昌輝（大勝）	中村　晃太（戸口）	福原　明莉（戸口）
小学４年生	恵　理久（龍瀬）	豊　朔良（龍瀬）	中山　汰凰（大勝）	荒関　風吏（戸口）
小学５年生	中村　宗介（戸口）	長　結稔（大勝）	姫野　力冬（円）	山口　琥雅（戸口）
小学６年生	辺木　湊大（龍郷）	押村　礼智（大勝）	—	—
中学１年生	牧主　拓誠（戸口）	要田　朝陽（赤徳）	辺木　碧音（龍郷）	—
中学２年生	大山　雄靖（赤徳）	法島　竜（赤徳）	泰江　珠來夢（龍瀬）	—
中学３年生	有川　碧空（龍瀬）	且　凌芽（赤徳）	緑　空仁（赤徳）	—
一般軽中量級	野島　敏宏（大勝）	徳重　勝太（龍瀬）	泰江　真太郎（龍瀬）	泰江　琉翔夢（龍瀬）
一般無差別級	浜田　龍之介（龍郷）	龍　丞一朗（龍郷）	則岡　博之（龍瀬）	前田　誠（大勝）

団体戦結果	優勝	第２位	第３位
小学生の部	大勝	戸口	龍郷
中学生の部	赤徳A	龍瀬	赤徳B
一般の部	龍郷	大勝	龍瀬

（敬称略）





第61回 龍郷町駅伝競走大会

接戦を制し 大勝Aが7年ぶりの優勝

10月18日(日)、前月の町相撲大会に続き、町駅伝競走大会が開催されました。

町民体育大会における熱中症予防等のため、今年から同大会と日程を入れ替えて行われ、コースも秋名小学校から奄美信用組合竜郷支店までと、今までの約半分の距離での開催となりました。

レースでは一度も1分以上の差がつかないトップ争いが展開され、前半は赤徳Aが先行しましたが、5区で大勝Aが逆転。その後広げたリードを守り切った大勝Aが、6連覇中だった赤徳Aを破り、7年ぶりの優勝を果たしました。



総合成績

優勝	大勝A
第2位	赤徳A
第3位	龍瀬A

Bクラス

優勝	大勝B
第2位	龍瀬B
第3位	円

区間賞



区間	名前	校区	記録	距離
第1区	伊藤 晴	龍瀬A	08分15秒	2.5km
第2区	鈴木 唯央	赤徳A	04分51秒	1.4km
第3区	山田 亜蓮	大勝A	09分00秒	2.7km
第4区	竹山 太陽	赤徳A	08分25秒	2.5km
第5区	安田 陽葵	大勝A	05分37秒	1.5km
第6区	吉 隆之輔	龍瀬A	08分51秒	3.0km
第7区	高橋 つむぎ	龍瀬A	04分44秒	1.1km
第8区	要田 亨	赤徳A	03分27秒	1.1km
第9区	岡島 慶貴	大勝A	05分29秒	1.8km
第10区	東 杏	赤徳B	04分15秒	1.1km

優良競技者 15回出場:大郷 良祐(円) ／10回出場:川口 裕希(龍郷) ／5回出場:龍宮 麦(秋名)、姫野 千葵(円)、村田 輝(円)、高橋 つむぎ(龍瀬)、福田 眞音(龍瀬)、碇山 凛(龍瀬)、中村 明(大勝)、井手迫 正大(大勝)、岡島 慶貴(大勝)、平田 駿(大勝)、栄 柊哉(戸口)、鈴木 唯央(赤徳)、堀内 淳哉(赤徳)



最年少・最年長

最年少男子:赤徳小3年 竹山 慶／最年少女子:龍瀬小4年 西 かんな／最年長:68歳 長谷場 洋一郎



(敬称略)

男女共同参画 龍郷町・宇検村共同企画

ジェンダー視点を踏まえた性教育の推進

インターネットやSNSなどに性に関する情報があふれ、子どもたちにも深刻な影響を及ぼしていることから、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ※を踏まえ、性に関する知識を学ぶだけでなく、ジェンダー平等や多様性尊重の意識と自己決定する力を育む人権の学びを提供する包括的な性教育が、子どもにも大人にも求められています。

このため、龍郷町男女共同参画推進総合計画では、**『重点目標Ⅳ　生涯を通じた健康づくり』に「ジェンダー平等を基盤とした性教育の推進と性に対する正しい知識の普及」**を位置付けています。

※「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）とは、妊娠や出産、性に関するすべてにおいて、誰もが心身ともに健康で、自分の意思で選択・決定できる基本的人権のことです。

重点目標Ⅳ　生涯を通じた健康づくり

施策の方向

1 身体的性差とジェンダーに配慮した健康づくりの推進
2 身体的性差とジェンダーに配慮した健診・検診と医療保健・相談体制の整備
3 妊娠・出産に係る支援
4 ジェンダー平等を基盤とした性教育の推進と性に対する正しい知識の普及
5 男女共同参画の視点に立ったスポーツ活動の推進

施策

(1)子どもの年齢に応じたジェンダー平等を基盤とした性教育の推進
　学校や保育所における包括的性教育の実施
(2)大人の性教育の推進
　保護者をはじめ大人が性教育を学ぶ機会の提供

「奄美群島包括的性教育プロジェクト」について

みんなの診療所：小徳　羅漢



みなさん、こんにちは！龍郷町の「みんなの診療所」で医師をしております、小徳です。

今回、「包括的性教育」についてお話しする機会をいただきました。「包括的性教育とは？」「世界のスタンダードは？」「私たちが奄美群島で進めているプロジェクト」について、わかりやすくお伝えできればと思います。

1. 性教育は「性の話」だけじゃない？

「性教育」と聞くと、「月経や射精、セックスの話」「子どもにはまだ早いのでは？」と思われる方も多いかもしれません。しかし、現在の国際基準である「包括的性教育」は、それだけにとどまりません。包括的性教育では、以下のような幅広いテーマを大切にしています。

- **人権と自分らしさ**：すべての人が尊重されるべき存在であること、性の多様性（LGBTQ+など）
- **人間関係とコミュニケーション**：家族や友達との健やかなつながり、「嫌なことは嫌」と言える権利、相手の気持ちを尊重する「同意」
- **からだと心の発達**：身体の仕組みだけでなく、感情の変化やメンタルヘルス
- **安全と暴力防止**：性暴力やいじめから自分や相手を守る方法　　などなど…

つまり性教育とは、単なる生殖の知識ではなく、「自分と周りの人を大切にして、よりよく生きていくための学び（人権教育・生き方教育）」なのです。



2. 世界のスタンダードと日本の現在地

ユネスコ（国連教育科学文化機関）が作成した国際セクシュアリティ教育ガイダンスでは、５歳頃の幼児期から年齢に応じた包括的性教育を行うことが推奨されています。海外の多くの国では、学校教育の中で「自分を大切にする権利」や「人との関係性の築き方」を日常的に学んでいます。

実際に、オランダは国全体で包括的性教育を導入してから、初めての性交年齢が上がったり、幸福度も上がったりと良いことづくしです。

日本においては、2003年に「七尾養護学校事件」と言われる、養護学校で行われた子どもたちへの性教育に都議会や都教育委員会、メディアが介入すること（裁判で学校側が勝訴）が起こり、教育現場における性教育が萎縮するきっかけとなりました。

3. 奄美群島包括的性教育プロジェクトの取り組み

そのような中、2024年に奄美大島で高校生の梅毒感染が複数見つかったことから、感染の流行を防ぐために、県立大島病院総合診療科と名瀬保健所が協力して緊急で高校生1200人にコンドームを配り、実践的な性教育を行いました。



しかし、「性感染症」や「コンドーム」の話を高校生にするだけでは、「じゃあ、どうして妊娠させちゃいけないの？」、「性的同意って何？」というもっと基本的なことを伝えきれませんでした。

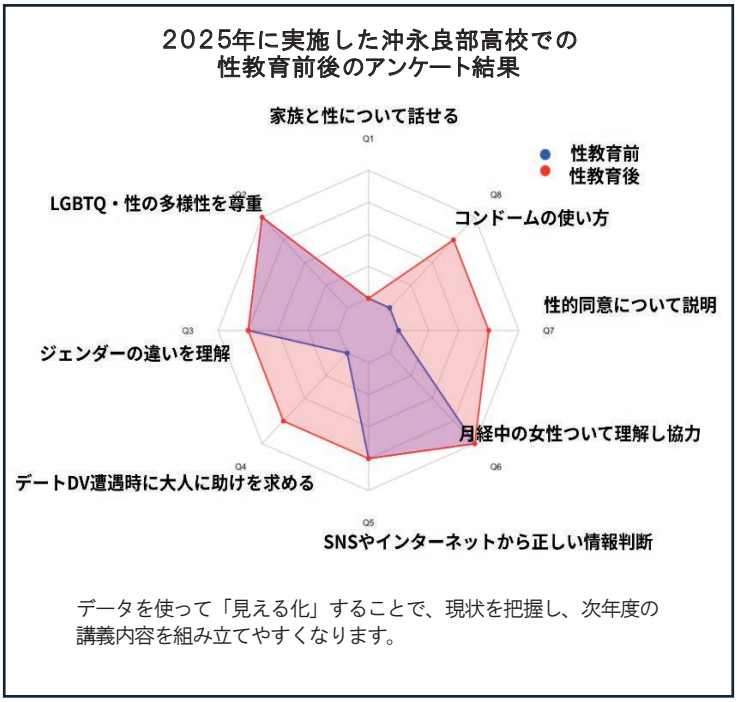
そこで、大島教育事務所と連携し、奄美群島全ての小中学生に包括的性教育を届ける「奄美群島包括的性教育プロジェクト」を2025年に立ち上げ、2026年4月から活動をスタートしました。メンバーは医師、助産師、看護師、養護教諭の多職種からなり、徳之島や沖永良部島からも参加していただいています。これまでに46件もの講演依頼がありましたが、経費面を理由に申請できなかった学校もあり、今後は必要な予算の確保や群島全体の理解、講師の育成が課題です。

なお、先日、龍郷町の保育士さん向けに「０歳から始める包括的性教育」をテーマにワークショップを実施させていただきました。おむつを替える時に「おむつを替えさせてね」と声をかけるだけでも「包括的性教育」の「同意」と「尊重」を実践することになります。今後は保育園、幼稚園などの幼児期から、高校生や大人へと拡大できればと思っています。今年度は町 PTA 連絡協議会においても、教職員や保護者を対象に講話を予定しております。

具体的な私たちの活動は、

- **コンドームや色水、生理用ナプキンなどを使った実践的な性教育**
- **性教育前後のアンケートを使った子どもたちの性に対する理解度の「見える化」**
- **講師同士のつながり・勉強会**

などです。授業を受けた子どもたちからは、「自分の体を大切にしたい」「友達の嫌がることはしないようにしたい」といった前向きな声がたくさん届いています。



データを使って「見える化」することで、現状を把握し、次年度の講義内容を組み立てやすくなります。

4. 地域みんなで育む、子どもたちの未来

包括的性教育は、子どもたちに「あなたはかけがえのない大切な存在だよ」と伝えるメッセージそのものです。家庭や学校だけでなく、地域全体で子どもたちを温かく見守り、子どもたちが困ったときにいつでも安心して相談できる島を目指して、これからも活動を続けてまいります。ご家庭や地域の会話のきっかけにしていただければ幸いです。

町内すべての小中学校で『子ども達と地域のジェンダー平等学び合い事業』を実施

2024年度から宇検村と瀬戸内町とともに、子ども達とその保護者や地域の方々、教職員を対象にしたワークショップやセミナーを実施してきました(「広報たつごう」でも紹介)が、今年度までで、町内のすべての小中学校と校区でその機会をつくることができました。実施に当たりご協力いただいた学校関係者及び地域の皆様、ありがとうございました。

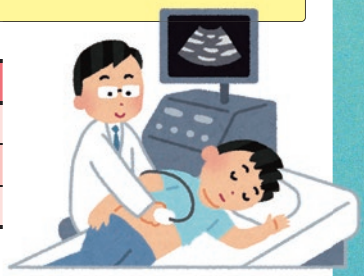
今後も男女共同参画関連事業にご参加いただくとともに、ご意見・ご要望をお寄せください。



問い合わせ先　役場 企画観光課　☎ 0997-69-4512

今年度最後の健診のお知らせ

問 役場 保健福祉課 ☎0997-69-4514



	日時	会場	受付時間
厚生連健診	11月7日(土)	りゅうがく館講堂	7:30～10:00
スピード健診	11月18日(水)	りゅうがく館講堂	7:30 ～ 9:00
	11月19日(木)	りゅうがく館講堂	7:30 ～ 9:00

・申し込みの必要はありません。
・日にちや受付時間の割振りを行っております。詳細は、対象の方に送付される案内をご確認ください。

健康診査内容	40歳～	70歳以上	生活保護世帯
基本健診(若年・特定・長寿)	無料	無料	無料(免除申請が必要ですので申し出てください)
※胃がん検診	500円	200円	
※腹部超音波検査(腹部エコー)	1,000円	1,000円	
前立腺がん検診	1,000円	1,000円	
大腸がん検査	500円	200円	
※肝炎ウイルス検査	500円	無料	
※ピロリ菌(胃がんリスク)検査	3,300円	3,300円	
新 ※すい臓がんマーカー検査	7,700円	7,700円	
※骨粗鬆症検査	500円	500円(75歳以上無料)	

※は厚生連健診のみの検査項目となります。

令和９年の「裁判員候補者」又は「検察審査員候補者」に選任された皆さまへ

問 鹿児島地方裁判所 裁判員係 ☎099-808-3773
問 鹿児島検察審査会事務局 ☎099-808-3719

それぞれの候補者は令和8年9月1日現在の選挙権を有する県民の中からくじで選定されます。選定された候補者の方々へは、11月中旬頃に「裁判員候補者名簿への記載のお知らせ」又は「検察審査員候補者名簿への記載のお知らせ」が届きます。
国民が司法に参加する二つの制度ですので、ご協力をお願いいたします。
なお、ご不明な点はそれぞれの問い合わせ先へお尋ねください。



町を走る給食トラックが大変身！

給食センターからお知らせ

毎日おいしい給食を届けている「給食配送車」のデザインが新しくなりました！

今回のラッピングは、子どもたちに給食の時間をもっと楽しみにしてもらい、町民の皆さんにも学校給食への関心や愛着を持っていただけるよう企画したものです。デザインには、「タッピィ」があしらわれており、ひと目で「給食の車だ！」と分かる、明るく元気なデザインに仕上がりました。どんな野菜たちがいるか探してみてくださいね。

2学期より、この新しいトラックが町内の小中学校へ毎日給食を届けています。見かけた際は、ぜひ温かい目で見守ってくださいね！



秋のこどもまんなか月間

問 役場 子ども子育て応援課 ☎0997-69-4555

こども まんなか

毎年11月は「秋のこどもまんなか月間」となっており、こどもや子育て世帯を社会全体で支える意識を高め、児童虐待防止のための啓発活動を集中的に行う期間となっています。

すべてのこどもは、「児童の権利に関する条約」の精神にのっとり、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られることなどを保障される権利があります。

こどもの健やかな成長に影響を及ぼす児童虐待の防止は、社会全体で取り組むべき重要な課題です。小さなことであっても「あれ？おかしいな？」と感じたら、児童相談所虐待対応ダイヤル『189（いちはやく）』にお電話ください。

オレンジリボンは、こどもの虐待を防ぐシンボルマークです。期間中、役場庁舎内においてもオレンジリボンツリーを設置しています。

児童相談所 虐待対応 ダイヤル（通話料無料）

虐待かもと思ったら
いち はや く
189
※一部のIP電話からはつながりません。

親子のための相談LINE

子育てや親子関係について悩んだときに、こども（18歳未満）とその保護者の方などが相談できる窓口です。

匿名可能　秘密厳守



職場の３人１組で参加し、体脂肪減少率で上位入賞したチームには最高５万円分の商品券をプレゼントします。職場の仲間で励まし合って、楽しく健康的にダイエットしませんか？

今年度より一般枠として、国保加入者限定３名１チームの個人チームも募集します！

募集要件

龍郷町と奄美市にある事業所（支店別）にお勤め、もしくは国民健康保険に加入している18歳～74歳（令和９年３月末日時点）の龍郷町民及び奄美市民

ルール

- 龍郷町と奄美市にある事業所（支店別）にお勤めの３名１チームもしくは町内の国保加入者３名１チーム対抗戦
- 開始時と終了時に測定する「体脂肪率」の、チーム内「減少平均値」で競う
- 過度な食事制限（糖質制限・絶食など）は厳禁とし、健康的な減量を目指す
- 事前測定・事後測定の際に30分程度、保健指導のお時間をいただける事業所に限る。

募集期間

令和８年11月２日（月）～ 定員に達し次第終了
受付時間：８時30分から17時00分
＊事業所：先着５事業所（同一事業所のチーム数の制限３チーム）
＊個人：１チーム（国保加入者３名）



応募方法

事業所が町内の方は下記にお電話でお申し込みください。
事業所が奄美市内の方は奄美市役所へお申込みください。

問合せ・申込先

役場 保健福祉課 ☎0997-69-4514

ゆっくり走るのが、私の保護活動

9～11月はアマミノクロウサギ交通事故防止キャンペーン期間です！

問 役場 生活環境課 ☎0997-69-4525



龍郷町では、県道81号線でアマミノクロウサギの交通事故が発生しています。運転する際は、以下の点に注意して、安全運転をお願いいたします。

事故多発区間や、カーブ区間での「減速運転」

路肩に注意し、早期発見するための「ハイビーム運転」

飛び出してくる、目の前にいる「かもしれない運転」



※2025年9月から2026年8月までのデータを使用して作図。

保護活動によって個体数や生息地が回復してきたため、より身近な存在になってきたアマミノクロウサギ。みなさまの安全のためにも、夜間はゆとりある運転をお願いします。

やむを得ずひいてしまっても罪に問われることはありません。ケガをしている、死んでいるアマミノクロウサギを発見したら、下記までお電話下さい。



環境省
奄美野生生物保護センター
☎0997-55-8620



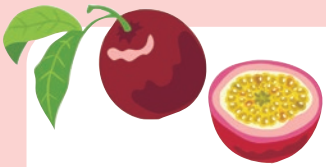
ご来庁ありがとうございました


龍南中吹奏楽部 御一行様


渡部暁斗様 御一行

令和７年度

龍郷町ふるさと納税　実績報告





一般寄附

ふるさと納税は出身地や応援したい自治体に寄附を行った場合に所得税・住民税の控除が受けられる制度です。寄附者が使い道を選べる他、地域の特産品等を受け取ることができる点が特徴です。**令和７年度は全国から4,433件、97,544,000円の寄付金が集まりました。**また、ふるさと納税を活用して各事業を実施しましたのでご報告いたします。多くの皆様の応援、誠にありがとうございました。令和８年度もどうぞよろしくお願いいたします。

寄附の使い道	件数（件）	金額（円）
❶ 地域資源を生かした産業を創造するまちづくり	752	17,656,000
❷ 健やかで安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり	416	8,279,000
❸ 快適な生活環境でゆとりあるまちづくり	242	5,198,000
❹ 豊かな心を育む教育と文化が薫るまちづくり	619	16,656,000
❺ 人がふれあい個性が輝く交流・連携のまちづくり	111	2,826,000
❻ 効率的な行財政運営で共に創るまちづくり	40	914,000
❼ 町長に一任（前各号に定めるもののほか、町長が必要と認める事業）	2,253	46,015,000
合計	**4,433**	**97,544,000**

事業名	充当金額（円）	使い道の番号
離島甲子園参加負担金	1,500,000	❹・❺
地域活力創出事業	800,000	❸
出産祝金	2,500,000	❷
本場奄美大島紬購入費等助成金	1,800,000	❶
輝く龍郷っ子支援事業	4,300,000	❹・❺
図書購入	1,900,000	❹
給食費負担金	21,000,000	❼
給食センター備品購入	1,500,000	❷・❹
合計	**35,300,000**	





企業版

企業版ふるさと納税は地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除が受けられる制度です。令和７年度は16企業から370万円の寄附が集まりました。龍郷町への応援、誠にありがとうございました。令和８年度もどうぞよろしくお願いいたします。

事業名	充当先	充当金額(円)
❶『育む』事業	全国離島交流中学生野球大会負担金	900,000
	龍郷町結婚活動支援事業	400,000
❷『呼び込む』事業	ふるさと祭協賛会補助金	1,700,000
❸『つくる』事業	農地再生パワーアップ事業	700,000
合計		3,700,000

企業名	所在地	寄附金額(円)	寄附対象事業
株式会社ビッグツー	鹿児島県鹿児島市(本部)	1,000,000	❷
株式会社コンパス	三重県松坂市	非公表	❶
株式会社奄美通信システム	鹿児島県奄美市	非公表	❶
株式会社南日本技術コンサルタンツ	鹿児島県鹿児島市	非公表	❸
株式会社里山興業	鹿児島県大島郡瀬戸内町	非公表	❷
株式会社南九	鹿児島県鹿屋市	500,000	❸
有限会社奄美通商	東京都渋谷区	非公表	❷
株式会社エム・エム・シー	東京都千代田区	100,000	❶
他、公表を希望されない企業　８社			

※敬称略

龍郷町へのふるさと納税・企業版ふるさと納税をお待ちしております

龍郷町ふるさと納税の返礼品は町外の方のみご利用可能です。

寄附の方法

WEBから寄附

ふるさと納税ポータルサイトからご利用いただけます。詳細は右のQRコードからご確認ください。

電話・メールから寄附

返礼品一覧を送付致します。下記問合せ先(役場企画観光課)にお電話もしくはメールにてご住所、お名前をお教えください。

問い合わせ先　役場 企画観光課　☎ 0997-69-4512

龍郷町
議会だより 第212号

発行／龍郷町議会
〒894-0192
大島郡龍郷町浦110番地
TEL：0997-62-3111（内線2272）
FAX：0997-62-2535

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、龍郷町議会だより編集委員会が編集したものです。

令和８年 第３回 定例会

P14 一般質問

一般質問とは各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問点をただすことです。 単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。 本町議会の質問時間は、１人60分以内となっています。

P14 伊集院 巖（いじゅういん いわお） 議員
- 避難所の環境整備について
- 町道整備について
- 町単独事業について

P15 徳永 義郎（とくなが よしろう） 議員
- 離島医療について
- 公共施設の維持管理について
- 農業振興について
- 台風時の停電について

P16 久保 誠（くぼ まこと） 議員
- 福祉行政について
- 観光行政について
- 消防行政及び災害時の災害対策本部配置について

P17 前島 克幸（まえしま かつゆき） 議員
- 停電対策について
- 地域おこし協力隊について
- 各小学校の運動会開催時期について

P18 圓山 和昭（えんやま かずあき） 議員
- 多世代交流センター整備事業について
- 危機管理対策について
- 漁港・港湾の適正管理について

P19 長谷場 洋一郎（はせば よういちろう） 議員
- 農業施策について
- 離島救急医療体制について
- 奄美群島振興交付金について

P20 議決結果



各議員の一般質問に掲載されているQRコードを
スマートフォンなどで読み取ると、
一般質問の様子をYou Tubeで手軽に視聴できます。

※通信環境（Wi-Fi等）をご確認の上、ご視聴ください。

編集／議会広報委員会　委員長：伊集院 巖　副委員長：長谷場 洋一郎　委員：圓山 和昭、久保 誠、前島 克幸



伊集院 巌 議員

動画はこちら

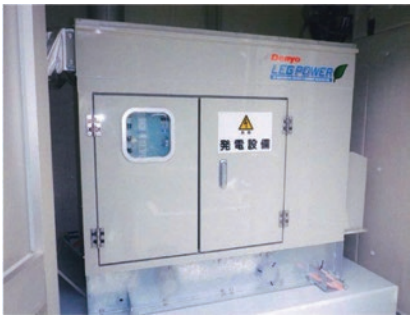
避難所の環境整備について

問 台風被害などの長時間の停電により、避難所生活に影響が出ているが、今後の環境整備は。

答（町長） 公民館等を新たに建設する際には、災害時の避難所としての機能も考慮し、発電機などの非常用電源設備の設置を基本とし、停電時にも安心して避難できる環境整備を進めて参りたい。

問 前回、既存の公民館に大型の発電機の導入を検討していくと答弁されているが、どのような検討がなされたか。

答（総務課長） 要望の上がっている集落については、当然発電機の設置を検討しなければならない。緊急防災減災事業債のメニューの中で非常用電源装置の設置が可能となっているため、そのような有利な起債を活用して整備していく。



安木屋場公民館の発電機

町道整備について

問 根原加世間線の道路整備計画は。

答（町長） 根原加世間線は総延長3，105メートルで、そのうち1，665メートルが未改良となっている。加世間集落内は道路幅が狭く、また、加世間川から終点までは未舗装であるため、大雨時には路面補修などを行っているところである。道路整備については現在計画はないが、今後整備の要望がある場合には、集落の総意として地権者の同意を付した上で要望していただく必要がある。

問 宇天西原線の離合箇所の設置は。

答（町長） 宇天西原線は1，191メートルで、うち1，123メートルが幅員4メートル未満の狭い路線である。離合箇所については、現在数か所あるが、新たな設置となると、道路斜面が急勾配の箇所が多いことや、平場でも用地取得の必要性も考えられることから、具体的な設置箇所について地元との協議が必要である。事業の実施については、財源の確保もあるため、現在、社会資本整備総合交付金事業で実施中の路線の進捗状況などを勘案しながら検討していく。

問 西原地区はバードウォッチングにも適地であり、観光スポットとして整備する必要はないか。

答（企画観光課長） この地域は美しい景観もあり、観光資源としての価値もあると思っているが、道が狭小なため観光客には分かりづらい。できればガイドブックなどに載せて明記する必要があるのではないかと考えている。

町単独事業について

問 令和7年度に実施された農林水産業関連の町単独事業の内容及び、事業の実施基準と事業実施後の検証は。

答（町長） 町独自の主な事業は、農林業部門で一般農業者を対象としたパイプハウスリース事業、堆肥助成、荒廃農地等利活用促進事業などを実施している。

組織団体を対象とした事業としては、町さとうきび振興会や生産部会等への各種事業及び活動補助金、青年農業者クラブや生活研究グループ協議会に対して活動補助金を交付している。事業の実施基準については、それぞれの要綱や規程等に基づいて実施されている。また事業実施後の効果の検証については、各種事業ごとに実績報告に伴う事業効果を確認することとしている。

一般質問は YouTube で ライブ配信・録画映像を ご覧になれます



徳永 義郎 議員

動画はこちら

離島医療について

問 現在の急患搬送のシステムはどの様になっているのか。また今後の課題とその取り組み状況は。

答（町長） 急病やけがが発生した場合には「119番通報」により救急車が出場し、患者の状況を把握した上で、重症度や緊急度が高いと救急隊が判断した場合と、119番通報の聞き取り内容から、心筋梗塞や脳卒中、あるいは重症外傷等のキーワードに該当した場合には救急車の出場と同時にドクターヘリも出動する。

搬送後は、ほとんどが基地病院で完結するが、より高度な医療処置が必要になり県本土や沖縄への搬送が必要な場合も多数ある。群島外への搬送の課題としては、ドクターヘリは視界の確保や安全上の理由から運航に制限がある夜間や荒天時と、ドクターヘリが県本土や沖縄への長距離搬送時に重複した事案に対して、自衛隊や海上保安庁のヘリ、航空機など他の航空搬送手段に依頼となる。実際に搬送されるまでに相当の時間を要する事が大きな課題だと考えており、離島を抱える県内の他市町村や県、関係機関と連携し、夜間を含めた航空搬送体制の充実について、検討と協議を求めていきたい。

問 専門医（小児科・産婦人科・耳鼻科等）不足への取り組みについて。

答（町長） 県内では医師の偏在化により離島へき地の医師不足と産婦人科・小児科など特定診療科目においての医師不足が課題となっており、医師の人材確保については特に島内では開業医の減少が続いている中で、安心して生活する上では欠かせない医療体制について課題があることを十分認識をしている。

今後の取り組みについては、大島郡医師会をはじめ医療関係団体、社会福祉関係団体、市町村長などから構成される「奄美保健医療圏地域医療構想調整会議」において、広域的に議論を重ね、更には奄美群島振興開発の推進に関する要望書においても医師の偏在化の解消について要望していきたい。

公共施設の維持管理について

問 現在の公共施設（庁舎・教育施設・公営住宅・保育施設）の維持管理、点検は。

答（町長） 「龍郷町公共施設等総合管理計画」を基本計画とし、より具体的な計画として「龍郷町公共施設等個別施設計画」を策定している。対象となる施設は、庁舎、公民館、保育施設等であり、公営住宅については、「公営住宅等長寿命化計画」、教育施設については「学校施設長寿命化計画」、「体育文化センターりゅうゆう館・りゅうがく館長期保全計画」をそれぞれ策定している。個別計画については、令和7年度に各施設の目視による点検・調査を実施し、施設の現状や課題を把握するとともに、今後の維持管理や改修・修繕等について優先順位を定めている。

農業振興について

問 本町の農村再生特区制度への取り組み状況は。

答（町長） 農村再生特区制度とは、国が地域限定で農地取得の面積要件や一般企業などの参入制限をなくして、耕作放棄地や遊休農地の再生・活用を目指すことを目的に、平成15年に試験的に実施された制度で、令和5年に全国一律で農地取得における下限面積要件の撤廃や新規参入者への農地利用の制限が緩和されている。

台風時の停電について

問 台風時の停電状況と今後の停電対策は。また九州電力との連携は。

答（町長） 台風13号接近の際には玉里集落を除く町内各集落が停電となり、最長4日間停電となった集落があった。台風18号では戸口地区及び荒波地区の一部が停電している。今後の停電対策については、停電の未然防止及び被害の軽減を図るため、電線周辺の樹木や倒木等による影響が懸念される箇所について、関係機関と連携しながら点検・把握し、必要に応じて九州電力に情報提供を行い、町民の安全・安心の確保に努めていく。



久保 誠 議員

動画はこちら

福祉行政について

問 地域サロンや体操教室、OB教室の現状について。

答（町長） 地域サロン（どぅくさ会）の現状については、現在15団体が、地域の公民館において各集落の世話焼きさんを中心に活動している状況である。また、体操教室としては、楽らく体操教室、てくてく体操教室を実施しているほか、鹿児島大学やリハビリ専門職と連携した体力測定を導入する等、参加の動機付けや通いの場の活性化につながるよう取り組んでいる。OB教室としては、でいでいクラブ・すまいるアップ教室を開催し、対象者の運動の継続を図っている。

問 高齢者無料バス助成事業の現状と課題について。

答（町長） 本事業は、町内に居住する70歳以上の高齢者に対し、少しでも経済的な負担を軽減して積極的な社会参加を促進し、健康で明るく豊かな生きがいづくりを目的に実施している。令和8年3月末現在で386人が登録している。課題としては、まだまだ周知不足であるため民生委員や老人クラブ、駐在員会を通じた声かけを中心に周知を図る。

問 元気度アップポイント事業の現状と課題について。

答（町長） 令和7年度において22団体が利用、個人ポイントについては、481名が登録し354名が利用している。課題としては、グループ団体代表者への担い手となる方の確保が難しい状況にあり、活動を自粛する団体が見受けられることがあげられる。

観光行政について

問 島育ち産業館の現状と課題について。

答（町長） 施設及び設備利用者による加工品製造と特産品の展示販売、レンタサイクル事業を行っている。課題としては、完成してからすでに38年が経過し、施設及び設備の老朽化が進んでいる。また、1次産業を取り巻く環境が、当時の1・5次産業に加え観光や情報、福祉などの分野と掛け合わせた5次産業や生産・加工・販売までを一括して行う6次産業など多様化していることから、柔軟な対応を検討していく必要がある。

問 レンタサイクルの現状と課題について。

答（町長） レンタサイクルは、令和2年度過疎地域等自立活性化促進交付金によりクロスバイク5台、ロードバイク2台、マウンテンバイク2台の3車種9台で、すべて電動アシスト付き自転車を配備している。課題としては、観光客の増加により、車両のサイズ外の利用希望者が増加していること等、多様化すると予想される需要に対しての対応である。

消防行政及び災害時の災害対策本部配置について

問 消防団員について。

答（町長） 全国の消防団員数は、年々減少している状況であるが、本町では条例定数153名に対して機能別団員10名、女性団員5名を含んだ実員数139名で充足率は91％となっている。

問 救急体制の現状は。

答（町長） 救急体制の現状は、出場件数はコロナ禍以降、年間350～360件ほど出場しており、今年の出場件数は先月末までに急病184件、一般負傷46件、交通事故14件、水難事故2件を含めた合計は259件で、うち5件がドクターヘリ事案である。出場先は、ほぼ龍郷町内であるが、重複事案や多数傷病者事故など応援出場も行っており、今年もこれまでに笠利分署管内へ9件、名瀬署管内へ3件出場している。

問 災害時における災害対策本部設置の現状と課題について。

答（町長） 龍郷町地域防災計画及び災害対策本部設置マニュアルに基づき、災害の種別、程度に応じた職員の配備体制を整えており、課題となる初動体制の遅れを生じさせないよう迅速な設置体制を構築しているところである。また、集落の避難所への職員配置については配置基準はないが、災害の状況を判断し適宜対応している。



前島 克幸 議員

動画はこちら

停電対策について

問 台風13号による町内の停電状況は。

答（町長） ８月７日の午前中から町内で順次停電になり、龍瀬・浦と大勝集落の一部は８日未明に復旧、赤徳校区が９日の午後、荒波地区が９日の夕方、戸口・中勝・大勝集落は10日の午前中に復旧した。

問 隣の集落まで復旧しているが赤徳はその後丸１日かかったが、その理由は。

答（総務課長） 送電が龍郷発電所から喜瀬変電所経由で赤尾木に来ているからである。九州電力によると、今後は直接送電に向け検討していくとのことである。

問 停電対策の取り組みは。また老人世帯及び独居世帯への対応は。

答（町長） 各集落の集会場にＬＰガス発電機などを配備している。特に高齢者や要配慮者は冷房が使えないことで熱中症のリスクが高まるので、「事前の注意喚起」「避難環境の確保」「地域の見守り」の観点から対策を行っている。また健康被害が懸念される高齢者の避難先として、りゅうがく館２階に保健師２名を配置した避難所を設置している。

問 発電機以外にポータブル電源を配備とあるが、その容量と台数は。

答（総務課長） 企業からの寄付で600Ｗのものを10基配備している。

問 りゅうがく館やその他避難所の避難状況は。

答（危機管理対策監） りゅうがく館に１世帯２名、集落集会場８か所の避難所に14世帯15名の避難があった。

問 自宅で過ごす高齢者の対応として、ポータブル電源や乾電池式携帯充電器などを購入し貸し出しできないか。

答（総務課長） 予算面など考慮し検討する。

地域おこし協力隊について

問 地域おこし協力隊の配置状況は。

答（町長） 平成28年度から地域おこし協力隊を配置しており、現在５名が活動している。２名は教育民泊事業補助及びＩＣＴ教育支援員、３名はローカルコープ龍郷及びイモーレ秋名へ事業所派遣型として配置している。

問 これまでの採用部署、業務内容、また任期を終えたその後は。

答（企画観光課長） これまでは企画観光課で、移住・定住・空き家対策を含む住もうディの運営などである。退任した７名のうち５名が定住している。

問 事業所派遣型３名の管理・指導期間は半年になるが、その経過は。

答（企画観光課長） 事業所で雇用契約を結び、就業規則に沿って実施している。委託元である役場も事業所と連携している。半年経過時点で事業所から中間報告を受けており、年度末にも報告を受ける予定である。

問 農業に特化した地域おこし協力隊の配置は考えられないか。

答（町長） 受入体制の整備や環境づくりが必要となるため、担当課の意向も踏まえながら今後協議・検討を進める。

問 新たな農産物の開発・研究を行える隊員を採用し、アボカドやカカオなど試験栽培はできないか。

答（農林水産課長） 亜熱帯果樹の研究・開発は、県農業開発総合センター大島支場で行っている。研究期間が長くかかるため町での協力隊による対応は困難である。県の有望品目であるアボカドは着果の難しさから生産技術の確立に時間を要しており、カカオも雨や日差しへの弱さなど課題が残っている。

各小・中学校の運動会開催時期について

問 現在の各小・中学校の運動会日程状況について。

答（教育長） 中学校を含めた日程は、龍郷小は５月10日で終了している。龍北中９月27日、秋名小10月４日、大勝小10月25日、赤徳小・中と龍南中は11月１日、龍瀬小・戸口小・円小は11月８日実施予定である。

問 町内の複数校から集まるスポーツ少年団（野球・サッカー・バレーボール等）において、運動会日程が異なると各少年団の活動（県大会や自主大会）や地域行事にも支障がでてくると思うが。

答（教育長） 教育委員会は町内の大きな行事と重なりがないか方針を示す立場で、最終決定は学校長である。今後もあり得ることであるため、町校長会へ伝える。



圓山 和昭 議員

動画はこちら

多世代交流センター整備事業について

問 実施設計の進捗状況は。

答（町長） 当初、令和8年3月末の完了を目指していたが、昨今の社会情勢による物価高騰及び地質調査の結果を反映したことによる構造計算や工法の変更に時間を要し、令和8年7月に完了した。

問 事業費の見込みは。

答（町長） 3か年で総工費約13億580万円が見込まれる旨を報告していたが、実施設計の結果、約18億6，800万円を要することになった。

問 財源の調達状況は。

答（町長） 国の交付金事業で3億7，735万円の交付が決定しているが現在、内閣府に1億4，000万円の増額変更の申請を行っており、11月下旬には決定の可否が分かる。令和9年度についても、工事請負費の増額を見込み、今回の補正予算において債務負担行為限度額を4億2，268万円増額し、9億4，280万円の限度額を計上している。

危機管理対策について

問 災害時、通信手段が遮断された際の対応は。

答（町長） 携帯電話や消防無線が遮断された際には、集落公民館に設置されている防災行政無線通話システムが役場との重要な連絡手段となっているが、さらなる通信手段の多重化を図り、町民の安心・安全を守る体制をさらに強化していく。

問 停電時の高齢者の熱中症対策は。

答（町長） 独居高齢者や高齢者のみの世帯など、自力での避難が困難な「避難行動要支援者」に対しては、民生委員や集落駐在員等のほか、ケアマネージャーと連携し、台風接近前の声かけや、必要に応じて家族と連絡をとり、台風時の過ごし方の確認や停電時の安否確認体制強化を進めていく。

問 停電時の水道送水電源対策と放流ポンプを必要とする浄化槽の対策は。

答（町長） 浄水場など主要な施設には自動電源切り替え装置を備えた非常用自家発電機を設置している。自家発電機を常設していない小規模な施設については、可搬型発電機を搬入して対応している。本町が実施している合併処理浄化槽は非常用電源装置が無いため、停電が長期化し浄化槽が満水になり、排水できない場合がある。その際には各自で電源を確保して頂くことになるが、一時対策として風呂や台所、洗濯の排水を極力控えて頂くなど節水を呼び掛けている。

問 ポータブル電源購入補助金制度創設は考えられないか。

答（町長） 町民の皆様の負担軽減や防災力の向上に繋がる支援策として、県内及び奄美群島内の自治体の制度や実施状況等を参考にしながら補助制度の必要性や、内容等について検討していく。

問 電柱・電線の埋設化は考えられないか。

答（町長） 防災力を高めるとともに、良好な景観の形成や観光振興、歩行者の安全確保にも繋がる重要な取り組みであると認識している。様々な課題があり、現時点で本町全域に無電柱化を導入することは、財政面や整備上の課題からも厳しいものと考える。国や県、関係事業者の動向を注視するとともに、特に必要性の高い区域について整備の可能性を研究していく。

漁港・港湾の適正管理について

問 漁港・港湾内に放置されている廃船の対応状況は。

答（町長） 令和4年度に漁港の実態を調査し、漁船登録名簿から所有者を特定し撤去要請を行い、放置された廃船の解消を進めてきたが、依然として廃船が残っている。現在も長年使用されていないと思われる船が施設内にあるため、今後は漁業者等の施設利用者の協力のもと、漁港・港湾施設の実態調査を実施し、廃船所有者の特定による撤去処分の働きかけを行い、応じない場合は法的措置も含めて検討しながら施設の適正管理に努めていく。



長谷場 洋一郎 議員

動画はこちら

農業施策について

問 農業関連、各部会の現状は。

答（町長） 本町には農業関連の部会として、さとうきび部会、果樹部会、かぼちゃ部会、畜産部会の4つの生産者組織があり、それぞれJAが事務局となり、定められた規約に基づき会員からの会費と町からの助成金等で組織活動を行っている。

問 果樹苗木補助本数と助成の意義は。

答（農林水産課長） 平成30年から令和7年までに2，085本のタンカン苗木の助成を行った。タンカンは地域ブランド果樹として奄美大島全体で取り組んでいる。

問 敷料生産施設の運営状況と課題は。

答（町長） 敷料生産施設の運営状況については、本年4月1日から龍郷町地域振興公社を指定管理者として、畜産農家への敷料の提供販売を開始した。敷料原料の木材は、公共施設内や一般家庭の樹木伐採の持ち込み、森林組合や電力会社からの伐採木等が運ばれ、現時点での原料確保は十分である。課題は木材の受け入れ範囲と販売範囲をどこまで広げるのか、敷料の安全供給体制の構築に向けた基本的な方針を打ち出したいと考えている。

問 堆肥生産における牛糞量の根拠は。

答（農林水産課長） 過去5年間の堆肥消費量の平均は257トンである。牛1頭当たりの牛糞発生量が約7・3トンであり、8戸の農家から合計36頭分の提供があれば足りる。

離島救急医療体制について

問 救急搬送の要請と手順は。

答（町長） 昼間に発生した急患に対応するのは奄美ドクターヘリである。事案が重複した場合は、県の防災ヘリへ出動を要請し、県本土の病院へ搬送する。双方が困難な場合は自衛隊や海上保安庁へ対応をお願いする。

問 ドクターヘリや消防防災ヘリの夜間飛行はできるのか。

答（消防分署長） 日本ではドクターヘリの夜間飛行は許可されていない。鹿児島県での消防防災ヘリの夜間飛行も出来ない。

問 自衛隊奄美駐屯基地への分遣隊派遣や航空医療会議の設置について、町長のお考えは。

答（町長） まずは声をあげることが大事である。一つのテーマとして正面から向き合い、提言をあげ協議要望していくことで問題を解決していけると考える。



中央グラウンドで訓練を行うドクターヘリ

奄美群島振興交付金について

問 令和9年度奄振予算概算要求「強く豊かな日本」投資枠の概要と本町の取り組む事業は。

答（町長） 政府の「骨太の方針」に示されている成長戦略の推進、国内民間設備投資の促進、潜在成長率の引き上げに資する事業を重点的に支援するものである。これらの趣旨を踏まえ、町の課題解決を総合的に検討し要求する。今後は関係部署と連携して必要な協議を進める。

問 離島留学等、本町が取り組む事業は。

答（企画観光課長） 本町では現在、離島留学事業は実施していないが、交付率が嵩上げされたことから、事業導入の可能性を検討していく。事業の実施にあたっては、親子での受入れが望ましい一方、住居の確保が大きな課題と認識している。

問 当事業の所管課はどこになるのか。

答（企画観光課長） 事業検討は奄振を担当する企画観光課になるが、事業を実施する場合の所管は教育委員会となる。

問 小規模小学校の継続や「関係人口の拡大・創出」という観点から必要な事業と捉えるが、町長の見解は。

答（町長） 宿泊施設がないという問題がある。魅力はあるのでしっかりと前向きに捉え、子どもたちを増やし子育てができる町として、施策をしっかりと展開していきたい。

議決結果

第２回 臨時会ではこんなことが決まりました

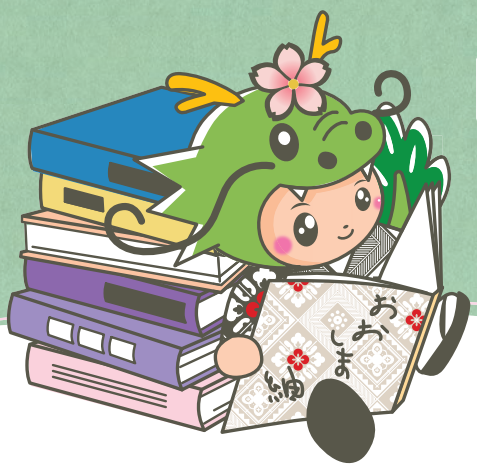
議案番号	議案の件名	議決結果	
第 37 号	**令和８年度龍南中学校改修工事請負契約の締結** 令和９年度から３つの中学校が統合され、新たに龍郷中学校を開校するため、校長室及び保健室の増設と４階にある２教室の改修工事の契約締結。	原案可決	全会一致
第 38 号	**令和８年度 龍郷町一般会計補正予算（第２号）** 751 万９千円を増額。物価高騰対策として、自治会エネルギー高騰臨時支援、漁業用燃油価格高騰対策、子ども食堂支援など。	原案可決	全会一致

第３回 定例会ではこんなことが決まりました

議案番号	議案の件名	議決結果	
第 39 号	**地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例** 地方自治法の一部改正に伴い、関係する条例について所要の改正をするもの。	原案可決	全会一致
第 40 号	**龍郷町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例** 人事院勧告に基づき、町議会議員の 12 月期末手当の支給割合の改正をするもの。	原案可決	全会一致
第 41 号	**龍郷町子ども医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例** 進学その他の理由により町外に転出した児童を引き続き給付対象とすることと、社会保険診療報酬支払基金の名称変更に伴い改正するもの。	原案可決	全会一致
第 42 号	**龍郷町印鑑条例の一部を改正する条例** 出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴い所要の改正をするもの。	原案可決	全会一致
第 43 号	**龍郷町営体育施設設置管理条例の一部を改正する条例** 土俵場を解体したため、改正するもの。	原案可決	全会一致
第 44 号	**令和８年度 社会資本整備総合交付金工事（屋入赤尾木線）２工区工事請負契約の締結** 芦徳里集落入口の延長 72 メートルの区間を施工するための請負契約の締結。	原案可決	全会一致
第 45 号	**龍郷町町道路線の認定** 民間事業者が宅地分譲のために造成した土地内の道路を町道認定し、今後管理しようとするもの。	原案可決	全会一致
第 46 号	**令和８年度 龍郷町一般会計補正予算（第３号）** ２億 5,337 万７千円を増額。多世代交流センター整備事業、消防施設費、台風被害による公共施設の修繕費用の増額。	原案可決	全会一致
第 47 号	**令和８年度 龍郷町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第１号）** 376 万５千円を増額。総務費の増額。	原案可決	全会一致
第 48 号	**令和８年度 龍郷町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）** 4,796 万７千円を増額。総務費と諸支出金を増額。	原案可決	全会一致
第 49 号	**令和７年度 龍郷町水道事業会計利益の処分及び決算の認定** 収益的収入３億 4,897 万３千円、収益的支出２億 4,381 万円で、消費税を抜いた差引利益は１億 516 万３千円、資本的支出では、１億 6,642 万２千円で、不足する収入は、損益勘定留保資金等から補てん。	原案可決	全会一致
第 50 号	**令和７年度 龍郷町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定** 収益的収入１億7,302万円、収益的支出１億4,962万８千円で、消費税を抜いた差引利益は2,339万２千円、資本的収入では4,739万３千円、資本的支出では9,245万円で、不足する収入は、損益勘定留保資金等から補てん。	原案可決	全会一致
認定 第１号	**令和７年度 龍郷町一般会計歳入歳出決算** 歳入総額 74 億 5,282 万７千円、歳出総額 72 億 4,934 万円で、歳入・歳出を差し引いた形式収支及び翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支から、基金積立金を加えた実質単年度収支は 1,254 万７千円の黒字。	原案可決	全会一致
認定 第２号	**令和７年度 龍郷町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算** 歳入総額７億 4,500 万３千円、歳出総額７億 4,251 万８千円で、歳入・歳出を差し引いた実質収支は 248 万５千円の黒字。	原案可決	全会一致
認定 第３号	**令和７年度 龍郷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算** 歳入総額２億 231 万７千円、歳出総額２億 182 万９千円で、歳入・歳出を差し引いた実質収支は 48 万８千円の黒字。	原案可決	全会一致
認定 第４号	**令和７年度 龍郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算** 歳入総額８億 3,019 万６千円、歳出総額８億 2,819 万３千円で、歳入・歳出を差し引いた実質収支は 200 万３千円の黒字。	原案可決	全会一致
同意 第 11 号	**龍郷町教育委員会委員の任命** 髙司 聖保美氏（再任）。	同意	全会一致
発議 第３号	**龍郷町議会会議規則の一部を改正する規則** 本会議等においてタブレット端末を使用するために改正をするもの。	原案可決	全会一致

令和8年9月15日より新たな各常任委員会の構成が決定しました

	委員長	副委員長	委員	委員	委員
総務厚生常任委員会	長谷場 洋一郎	久保 誠	徳永 義郎	伊集院 巖	得田 要一
経済建設常任委員会	圓山 和昭	前島 克幸	前田 豊成	平岡 馨	隈元 已子



りゅうがく館だより

11月号 令和8年

新着図書案内

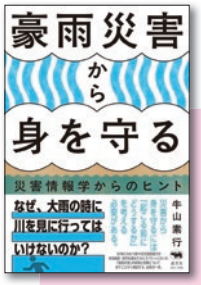
一般書

- 『法律家とキャリア 上・下』（加藤 新太郎／商事法務）
- 『まいにちの抗酸化ごはん 未来のわたしは今日の台所でつくる。』（Mami ／ KADOKAWA）
- 『柩の狩人』（大沢 在昌／幻冬舎）
- 『距離感大全“迷いをなくす”コミュニケーション術』（中島 健寿／ 技術評論社）
- 『未だ本能寺にあり』（今村 翔吾／幻冬舎）
- 『少食さんの栄養のとり方』（植木 もも子／池田書店）
- 『面白すぎて時間を忘れる「スパイ」の世界』（落合 浩太郎／三笠書房）
- 『ブラッディダイスの殺人 上・下』（M.W.クレイヴン／早川書房）
- 『おじさんになっても』（林 伸次／ディスカヴァー・トゥエンティワン）
- 『安恒』（今野 敏／集英社）
- 『店長、パスタに箸をつけたらお客様がキレました。』（村尾 信一／飛鳥新社）
- 『名探偵の君へ』（久能 武尚／新潮社）
- 『四得摂りのすすめ』（吉野 敏明／扶桑社） 他

児童書

- 『遊びながら語彙力アップ！ ことばが広がるしりとり図鑑』（SAPIXの通信教育ピグマキッズくらぶ／ 宝島社）
- 『すごすぎる夜空の図鑑 天体のひみつがぜんぶわかる！』（藤井 大地／ KADOKAWA）
- 『海をわたる蝶アサギマダラに会いたくて』（吉田 勝／小学館スクウェア）
- 『めくってたのしい！しくみがわかる断面図鑑』（本田 隆行／高橋書店）
- 『ヘイベイビー！いま、このくらい。』（松田 奈那子／童心社）
- 『歩きだした家』（サイモン ハウ／あすなろ書房）
- 『きみがきみであるために 不自由の壁をぶち壊せ！』（養老 孟司／光文社）
- 『ねすがたはいけん』（本田 亮／絵本館）
- 『それ“も”犯罪かもしれない図鑑』（小島 洋祐／金の星社）
- 『「考える力＋行動する力」が同時に身につく！こんなときどうする！？大事典』（遠山 純司／主婦と生活社）
- 『おしょくじちゅうごめんあそばせ』（はらぺこめがね／岩崎書店） 他

今月のおすすめ本



豪雨災害から身を守る
牛山 素行／晶文社

災害から身を守るには“起こる前にどうするか”を考える必要があります。30年にわたり数々の災害現場での実地調査・研究を重ねてきたスペシャリストが、「豪雨災害」の実態と対策について余すことなく解説する、必携の一冊です。



知的好奇心が育ち、自分で考える力が身につく！親子で始はじめるAI学習法
森本 真理子／ KADOKAWA

宿題、読書感想文、自由研究、算数、国語、理科、社会、英語、親子の会話まで、具体的な活用例をたっぷり収録しています。AIを味方に、子どもの「なんで？」を学びのチャンスに変えよう！親子で使えるAI学習法を紹介する一冊です。

問い合わせ先 生涯学習センター りゅうがく館 事務室 ☎ 0997-62-3110



地域おこし協力隊
観光・教育民泊担当

よこやま ちさと
横山 千咲都

令和８年２月着任
東京都足立区出身
嘉渡集落在住

地域おこし協力隊 ちーちゃん、ただいま活動中！④



9月から10月にかけて、地域のさまざまな行事に参加しました。

中でも印象に残っているのは、龍北中学校最後の運動会です。運動会に向けて八月踊りの練習にも参加し、当日を迎えるのがとても楽しみでした。地域の皆さんが一丸となって競技に取り組む姿がとてもかっこよく、一緒に参加できたことをうれしく思います。長い歴史のある中学校の最後の運動会は、私にとって大切な思い出となりました。

また、初めて参加した敬老会では、婦人会の皆さんと一緒に準備をしながら、地域の皆さんと交流することができました。これからも地域の行事に参加し、皆さんとのつながりを大切にしていきたいです。

龍郷町 地域おこし協力隊 活動報告

地域おこし協力隊の取り組みをご紹介します！



（一社）E'more 秋名 所属

あさい　ことの
浅井 琴乃

令和８年４月着任
神奈川県出身
秋名集落在住

私を含む大学生8名で、シマの方々をおもてなしする「学生BAR」を開催し、2日間で延べ109名の方にご参加いただきました。また、秋名の田袋での自然体験や、地元の黒米を使ったミキづくり体験など、シマの自然や文化を生かした観光づくりにも取り組んでいます。現在は、来年2月の実施に向けたインターンシップの企画・設計を進めるほか、地域の事業者をつなぐDMCを目指し、スルーガイドの研修にも参加しています。また、荒波地区の暮らしや魅力を届けるため、E'more秋名のInstagramで情報発信もしています。活動を通じて、地域の方々が大切にしてきた文化や暮らしの魅力を日々実感しています。これからもシマの皆さんとのつながりを大切にし、地域と訪れる人をつなぐ活動に取り組んでいきます。





10月 おたんじょうび

わきゃシマの玉黄金

満１歳になりました。
この子たちに誇れる町を
みんなで作りましょう。

笑顔いっぱい、元気いっぱい！ねえね大好き！



肥後 紡生（つき）ちゃん
玉里
父 周平 母 奈々

前島 壱（いち）くん
手広
父 大和 母 洋子

じいじばぁば、いつもありがとう！



◆９月届出（敬省略）

お悔やみ申し上げます

向井　正子	82	秋名
西田　秀子	94	秋名
伊東　宗臣	77	幾里
小林　麗子	79	嘉渡（龍郷の里）
大山　勝治	91	嘉渡（龍郷の里）
久保　敦子	98	浦（愛寿園）
奥田　ヤス子	100	大勝
榮　明月	83	中戸口
松村　洋子	73	手広
久保　恵美子	89	芦徳

お誕生おめでとうございます

永田　祈音（きの）	㊚理人 ㊛海生	浦

寄付お礼

広報たつごうへご寄付をいただきました。ありがとうございます。

寄付者	ご住所
吉田　廣已	大阪府大阪市

香典返し

寄付者	故人	寄付先
濱田　賢己	濱田　勝子	赤尾木老人クラブ社協
久保　力	久保　敦子	愛寿園
奥田　末人	奥田　ヤス子	小規模多機能ひなた

ようこそ龍郷町へ！

HELLO BABY

銀のさじプレゼント

（対象者：父または母が町内に半年以上居住）





対象者（左から）

青木 暁大（あきひろ）くん、浜田 康士朗（こうしろう）くん

久保田 梨央（りお）ちゃん、盛島 佑珠（うみ）ちゃん

高島 海楽（かいら）くん、中村 樹央（きお）くん



対象者（左から）

瀧 咲杜（さくと）ちゃん、野村 心杏（みあ）ちゃん

ロビンソン アンジェリーナ大瀧（おおたき）ちゃん

龍郷町では「一生食べ物に困らない」「健やかな成長」という思いを込めて、出産祝いに銀のさじをプレゼントしています。



編集後記

10月に入り、行事で忙しい時期となりましたね。町駅伝では、急遽、選手に加え撮影もすることになり、走り終わった後、レンタサイクルの自転車で先頭を追い越して撮影する作戦を取ったのですが、先頭が高速すぎて自転車では全く追いつけず、作戦失敗に終わってしまいました。来年は原付で先頭と勝負したいと思います。応援よろしくお願いします。（10/20 中村）

11 2026 no.579
発行/龍郷町役場 編集/企画観光課
〒894-0192 鹿児島県大島郡龍郷町浦110番地
電話0997-62-3111 FAX 0997-62-2535
https://www.town.tatsugo.lg.jp koho@town.tatsugo.lg.jp

龍郷町行事予定 2026年11月

※行事は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

1	日	■どぅくさ会(14:00)瀬留
2	月	■楽らく体操(14:00)中勝　■楽らく体操(14:00)芦徳
3	火	文化の日 ■どぅくさ会(14:00)玉里　■どぅくさ会(14:00)上戸口 ■どぅくさ会(14:30)安木屋場
4	水	■でぃでぃクラブ(13:30)りゅうがく館 ■どぅくさ会(14:00)円
5	木	■ひだまり開放(9:30)龍瀬保育所「ひだまり」 ■1歳6か月児・3歳6か月児健診(12:30)旧龍瀬保育所 ■どぅくさ会(14:00)中勝　■どぅくさ会(14:00)赤尾木 ■楽らく体操(14:00)秋名　■楽らく体操(14:00)幾里
6	金	■男性料理教室(10:00)りゅうがく館 ■楽らく体操(19:30)川内
7	土	厚生連健診
8	日	■どぅくさ会(14:00)手広
9	月	旧暦 10月1日 秋季全国火災予防運動(～11月15日) ■どぅくさ会(14:00)浦　■どぅくさ会(14:00)芦徳 ■楽らく体操(14:00)中勝
10	火	■ひだまり開放(9:30)龍瀬保育所「ひだまり」 ■どぅくさ会(14:00)嘉渡
11	水	
12	木	■ひだまり開放(9:30)龍瀬保育所「ひだまり」 ■どぅくさ会(14:00)中戸口 ■楽らく体操(14:00)秋名　■楽らく体操(14:00)幾里 法 13:00～16:30
13	金	■でぃでぃクラブ(13:30)りゅうがく館 ■楽らく体操(19:30)川内
14	土	■どぅくさ会(20:00)芦徳
15	日	第67回 町民体育大会
16	月	■楽らく体操(14:00)中勝　■楽らく体操(14:00)芦徳
17	火	■ひだまり開放(9:30)龍瀬保育所「ひだまり」 ■どぅくさ会(14:00)玉里　■どぅくさ会(14:00)上戸口 ■どぅくさ会(14:30)安木屋場
18	水	■1歳児4歳児母子歯科相談日(12:30)旧龍瀬保育所 ■どぅくさ会(14:00)円
19	木	■ひだまり開放(9:30)龍瀬保育所「ひだまり」 ■でぃでぃクラブ(13:30)りゅうがく館 ■どぅくさ会(12:00)中勝　■どぅくさ会(14:00)大勝 ■楽らく体操(14:00)秋名　■楽らく体操(14:00)幾里 法 9:30～11:30
20	金	■よーりよーりサロン(10:30)旧龍瀬保育所 ■どぅくさ会(14:00)川内　■どぅくさ会(14:00)手広 ■楽らく体操(19:30)川内
21	土	■どぅくさ会(14:00)屋入
22	日	
23	月	旧暦 10月15日 勤労感謝の日 ■楽らく体操(14:00)中勝 ■楽らく体操(14:00)芦徳
24	火	■ひだまり開放(9:30)龍瀬保育所「ひだまり」 ■どぅくさ会(14:00)嘉渡
25	水	■どぅくさ会(14:00)赤尾木
26	木	■ひだまり開放(9:30)龍瀬保育所「ひだまり」 ■楽らく体操(14:00)秋名　■楽らく体操(14:00)幾里 法 11:00～12:00／13:00～15:30
27	金	定例駐在員会 ■子育てサロン(9:30)龍瀬保育所「ひだまり」 ■でぃでぃクラブ(13:30)りゅうがく館 ■楽らく体操(19:30)川内
28	土	■どぅくさ会(20:00)芦徳
29	日	
30	月	■楽らく体操(14:00)中勝　■楽らく体操(14:00)芦徳

スピード検診

おいしいひとしな　マコモダケの炊き込みご飯



龍郷町HP

材料　5人分

A
- ●米[3合]
- ●皮むきマコモ[200g]
- ●鶏もも肉[200g]
- ●水煮大豆[50g]
- ●人参(小)[1本]

●グリンピース(缶)[1缶]
●乾燥しいたけ[20g(戻し汁：100mlを使用)]
●しいたけの戻し汁[100ml]
〈かつおだし用〉
●水[1L]
●かつお節[20g]
※この中からかつおだし汁400mlを使用します
〈合わせ調味料〉

B
- ●薄口しょうゆ[50ml]
- ●塩[小さじ1]　●酒[小さじ1]

作り方

1. 米を洗い、ザルにあげて水切りしておく。
2. 乾燥しいたけを水に戻し、柔らかくなったら千切りにする。(しいたけの戻し汁は取っておく)
3. 沸騰した水1Lにかつお節を入れて2分おき、ザルで濾す。
4. マコモは斜め切り、人参は千切りにする。水煮大豆はサッと洗い水気を切っておく。
5. 鶏もも肉は食べやすい大きさに切り、酒(分量外)をふりかける。
6. 炊飯釜にしいたけの戻し汁(100ml)、かつおだし(400ml)、調味料B、材料Aを入れ、軽く混ぜ、15分置いてから炊飯する。
7. 炊きあがったら、湯通ししたグリンピースを加え、全体をさっくりと混ぜ合わせて器に盛りつける。

レシピ提供者：龍郷町 食生活改善推進員

法 奄美法律相談センター 無料法律相談のご案内

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で開催しており、龍郷町民の方についても無料で相談することができます。

お問い合せ・予約
奄美市役所 保健福祉部福祉政策課
つながる相談室
☎ 0997-52-1111
【受付時間】8:30～17:15
電話予約 必須 (先着順)

＼ひとくちコメント／

名前からタケノコを連想しがちですが、実はイネ科の植物です。黒穂菌の作用によって、根元の茎が大きく肥大化したものを食べます。 クセがなく、素焼きや天ぷらなどどんな料理にも合います。収穫から時間がたつと内部に黒い斑点が現れますが、これは黒穂菌によるもので、食べても問題ありません。